

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対応

敦賀市立中郷小学校

4月17日(木)に全国の小学6年生を対象とした「教科(国語・算数・理科)に関する調査」が、22日に「質問紙調査(オンライン)」が実施されました。その結果についてお知らせします。これらの分析をもとに、今後の指導改善に取り組み、「知・徳・体」の向上を目指していきますので、ご家庭でのご協力をお願いします。

【国語】◎良好であった点 ●課題となる点

## 話すこと・聞くこと

バスの運転士にインタビューしている様子を読み、小森さんが左傍線部のように発言した理由として適切なものを選択する。

### 【問題】

小森さん なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思いましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

1 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。

2 自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。

3 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。

4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

【正解】3

◎バスの運転士へのインタビュー文を読み、質問者が知りたいと思うことについて、話の内容を捉えたり、自分の考えと比較しながらまとめたりすることはできています。

これは総合的な学習の時間をはじめ、各教科において目的を明確にした上でゲストティーチャーを招いてお話をお聞きしたり、体験的な学びを取り入れたりしている成果であると考えます。

## 読むこと

### 【問題】

○木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを「資料2」、「資料3」、「資料4」に書かれていることを理由にしてまとめることにしました。あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。

○なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

### 【正答例】

言葉は年月とともに変化することになっとくしました。なぜなら、「新しい」という言葉が、奈良時代には「あらたし」と言われていたように、時代とともに言葉の形が変わることがあるからです。

●複数の資料を読み取り、条件を満たした作文を書くことに課題があります。

解答できていない児童が多くいました。前の問題で、目的に応じて文章と図表を結びつけ必要な情報を見つける問題が出題されていました。複数の資料を関連付けて読み取れなかったことが無解答につながったと考えます。

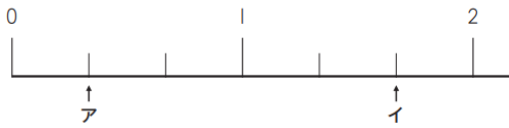
解答した児童も二つの条件を満たして作文を書かなければいけないにもかかわらず、どちらかの条件しか満たしていない児童が多く見られました。

## 今後の対策

- ・「○字以内で書く」「引用して書く」「文末表現に気をつける」「根拠を示しながら書く」など、複数の条件を満たし自分の考えを書く活動を取り入れます。
- ・国語だけに限らず、理科や社会等各教科で複数の資料の中から、目的に応じて文章と図表を結びつけ必要な情報を見つける活動に取り組みます。

## 数と計算

(3) 次の数直線のア、イの目盛りが表す数を分数で書きましょう。



(4)  $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$  を計算しましょう。

◎(4) 異分母の分数の足し算はできています。

●(3) 数直線上の目盛りを分数で答える問題です。アは3分の1と解答できていますが、イは1を超えているのに1より小さい分数で答える児童が多くいました。中には「分数で書きましょう。」となっているにもかかわらず小数で答える児童もいました。

## 変化と関係



ハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。

「プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり1回おすことです。

「プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることになります。

(1) まず、あさはさんは、保健室にある新品のハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを考えています。



保健室にある新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。

新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを知るためには、240 mLの他に何がわかればよいですか。

下の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア	1プッシュ分のハンドソープの液体の量	3 mL
イ	1プッシュするときにおす長さ	2 cm
ウ	あさはさんが1日にプッシュする回数の平均	8回
エ	あさはさんが手を洗うときにかかる時間の平均	60秒

【正解】ア

(4) 家に帰ったあさはさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

上の①にあてはまる数を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1
- 2 1.1
- 3 10
- 4 110

【正解】2

◎(1) 新品のハンドソープが空になるまでの使用回数を調べるために、伴って変わる二つの数量の関係に注目し必要な事柄を選択することはできています。

●(4) 10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が増量前の何倍かを考える問題で、「10%増量」について増加後の量が増加前の量の110%になることを捉えられていません。

## 今後の対策

- ・もとにする量(1にする量)とくらべる量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係をとらえていきます。
- ・「〇%増量」や「〇%off」、「〇割引」など日常生活の中にある課題を取り上げながら生活と算数の学習を結びつけていきます。

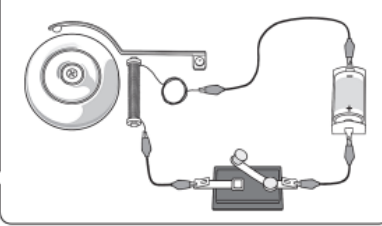
エネルギーを柱とする領域

いおりさんとてつやさんは、かね（ベル）について話しています。

かね（ベル）の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。  
電磁石の強さを強くして、かねを強くたけばいいね。 いおり

電磁石の強さを強くするには、次のようにするといいいね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたら、巻き数を（ア）。
- ・かん電池を変えたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



（3）上のふきだしの（ア）にあてはまることばを書きましょう。

【正答例】  
多くする、増やす

◎電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることの知識が身に付いているかどうかを見る問題です。実験等、体験的な活動を通して電磁石の強さと巻き数の関係の知識が身に付いていると考えられます。

今後の対策


- ・実験の結果を図表にまとめて考察するなど、条件を整理し、論理的に考えることに取り組んでいきます。
- ・観察、実験したことを図表に整理するだけでなく、整理したものを分析し、文章でもまとめることで図と文章を関連づけられるようにします。また、各教科において「図表に整理する→整理したものを分析する→文章にまとめる」という学習の流れを大切にします。

生命を柱とする領域

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。

たかひろ レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験



（条件）

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の《条件》の中から1つ選んで調べてみたい。 てるみ

（4）てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

【正答の条件】  
以下の①、②の全てを記述している。

①《条件》から、日光または肥料について、1つ選んで記述しているもの

②レタスの発芽に関し、疑問を示す趣旨で記述しているもの

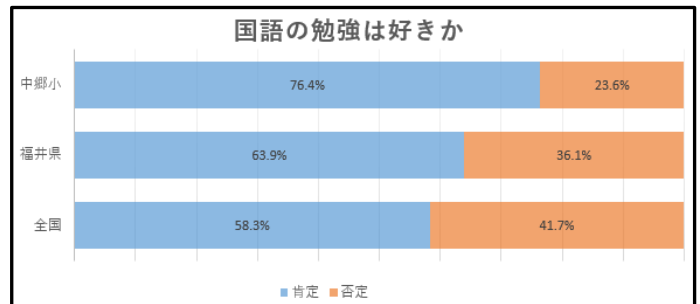
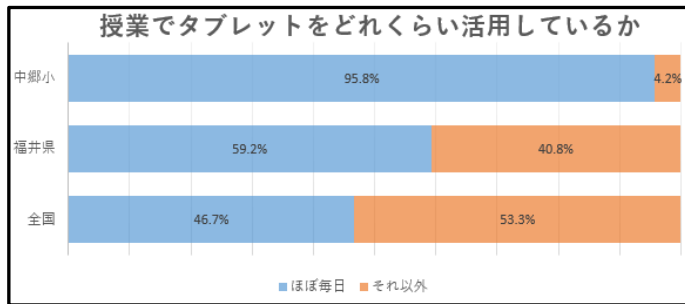
【正答例】  
レタスの種子が発芽するために、日光は必要なのだろうか。

- レタスの種子の発芽の条件について、前の問題で出たヘチマの発芽の条件との違いや共通点をもとに、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかを見る問題です。疑問を示す書き方で書けていない児童が多く見られました。
- また、無解答の児童も多く見られました。図と文章を関連づけながら筋道立てて考えることができず、あきらめてしまったことが無解答につながったと考えます。

参考

## 〈質問紙に関する結果から〉

### 全国、県平均よりも良好であった点(抜粋)



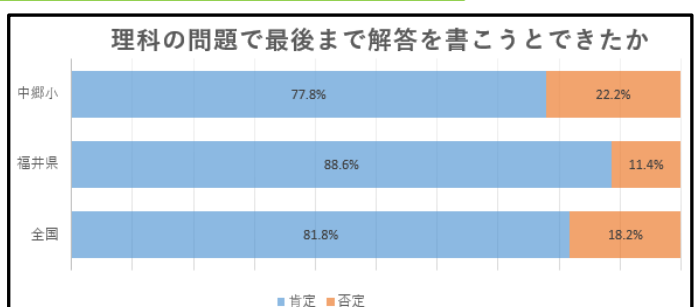
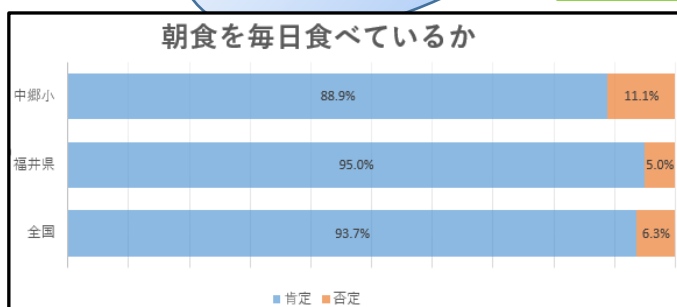
中郷小学校では、数年前からタブレット端末を効果的に活用する研究を進めています。ノートの代わりとして使うだけでなく、共有機能や検索機能を活用して友達と意見を交流したり、自分の考えを整理・深化させたりしています。こうした取り組みの結果、文章の作成や図表・グラフを活用してのまとめ、プレゼンテーション作成についての質問項目も平均を上回る成果が見られます。これらは、情報を主体的に収集・整理・発信する「情報活用能力」の育成につながっています。今後もタブレットを効果的に活用しながら、子どもたちが情報社会を生き抜く力を育てる授業改善を進めていきます。

国語だけに限らず算数、理科においても勉強が好きと回答している児童が多かったです。これはタブレットを有効に活用しながら自分のペースで主体的、協働的に学べるように取り組んできたことや、学びの過程を見取り、子どもに寄り添ってきた成果であると考えます。予測不可能な時代を生きる子どもたちにとって主体性や協働性を育成することは大事なことです。これからも教員は子どもの伴走者というスタンスを大切にしていきたいと思います。

「朝食を毎日食べているか。」「毎日同じ時間に寝ているか、起きているか。」等生活リズムに関する項目において概ね良好な傾向が見られましたが、県や全国の平均と比べると肯定的な回答をした児童の割合がやや少なく生活のリズムが安定しきっていない様子がうかがえました。生活習慣は子どもの集中力や意欲、さらには心の安定にも大きく関わり、生活リズムが整うことで教室全体の雰囲気も明るくなり、学習にもよい影響をもたらします。これからも継続的に生活指導を通して子どもの生活習慣を支えていきます。ご家庭でもご協力お願いいたします。

理科ほどではありませんが、国語や算数についても「最後まで解答を書こうと努力できたか。」という項目は県や全国の平均と比べてやや少なく、「途中であきらめた」「全く書かなかった」と答えた割合が少し高い傾向にありました。私たちは書く力を「自分の考えを整理して伝える力」と考えています。これからは、これまで以上に「図表に整理する→整理したものを分析する→文章にまとめる」という学習の流れを大切に、「友だちと考えを伝え合う活動」や「短い言葉で自分の考えを書く活動」を授業の中に取り入れていきます。

### 全国、県平均よりも課題のあった点(抜粋)



今後も職員一同、「心ゆたかで たくましい子の育成」に努めていきます。